

BUSINESS REVIEW 2020

第2四半期累計ビジネスレビュー
2019年9月1日～2020年2月29日
株式会社 ファーストリテイリング



www.fastretailing.com

「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」

表紙：インド1号店
ユニクロ アンビエンスモール・バサントクンジ店



インド1号店

LifeWearが世界を変える

新型コロナウイルス感染症が事業に大きく影響した上期は、減益という結果になりました。まずは、感染により苦しんでおられる方々にお見舞い申し上げます。我々は、お客様と全従業員、その家族の安心・安全確保を第一に考え、現状を注視しながら、この試練を乗り越えたいと思っています。

こうした環境下でも、我々は変わることのない服づくりを進め、お客様に大きな満足をお届けしたいと考えています。ファーストリテイリングはLifeWear(究極の普段着)というコンセプトを掲げて、服をつくり続けています。LifeWearとは、世界中のあらゆる人々の生活を豊かにする、生活ニーズから考え抜かれたシンプルで上質な服です。そうしたLifeWearの価値観は、ここ数年の間に世界中で支持され、その輪が広がっています。

LifeWearを実現するために、ファーストリテイリングは有明プロジェクトを推し進めています。社員全員の働き方を根本から変え、商品の企画・計画・生産・物流・販売のすべてのサプライチェーンを改革しています。

我々がめざすLifeWearは、サステナブル(持続可能)な社会への貢献につながるものでなければならないと思って

います。ユニクロやジーユーの服は、「使い捨ての服」ではなく、長く着ることのできる品質の高さと優れた機能性をもつ日常着です。シンプルで細部への工夫に満ちた、進化し続ける普段着です。

近年、お客様は服への評価だけでなく、服の素材調達や製造工程が、サステナブルな社会の実現に貢献できているかどうか注目しています。ファーストリテイリンググループでは、年間13億点の服を製造・販売しています。それだけに、世界の環境資源や人々の生活に与える影響には大きなものがあります。商品が製造される過程で環境に負荷がかかっていないか、工場働く人の労働環境に不備や人権侵害がないかなど、サステナブルな社会の仕組みを維持していくためには、さまざまな配慮が必要です。我々はアパレル製造小売業のリーダー的存在となり、世界をより良いものに変えていきたいと思っています。本当に良い服、今までにない新しい価値をもつ服を創造し、世界中のあらゆる人々に、服を着る喜び、幸せ、満足をお届けしていきます。

代表取締役会長兼社長 柳井 正

GROUP HIGHLIGHTS 2020

決算ハイライト

2020年8月期 上期連結実績

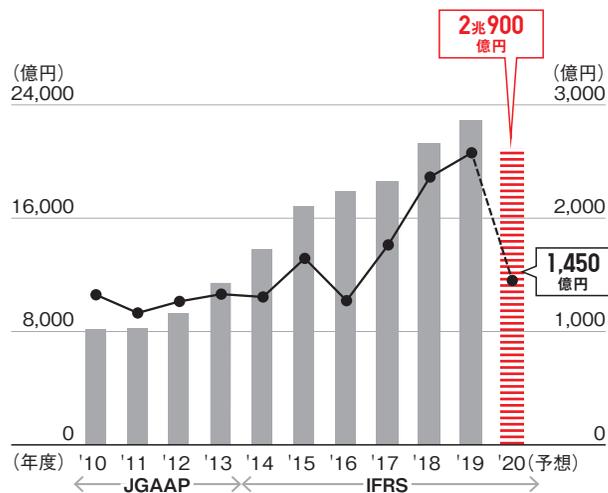
売上収益は1兆2,085億円、前年同期比4.7%減、営業利益は1,367億円、同20.9%減と、減収減益。新型コロナウイルス感染症の影響などにより、韓国、グレーターチャイナが大幅な減収減益。ジーユー事業は、大幅な増収増益と好調を維持。

2020年8月期 通期連結業績予想

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、グローバルで多くの店舗が臨時休業。感染症の収束時期が見通せないものの、下期後半には収束すると仮定し、通期連結業績予想を算出した。売上収益は2兆900億円、前期比8.8%減、営業利益は1,450億円、同43.7%減の大幅な減収減益の見込み。通期の年間配当金は、1株当たり480円、前期と同額の配当を予想。

売上収益と営業利益の推移

■ 売上収益(左軸) ● 営業利益(右軸)



ユニクロ事業

国内ユニクロ：上期は売上総利益率の改善で増益

上期は暖冬の影響で、冬物コア商品の販売に苦戦し、既存店売上高は前年同期比4.6%減。為替の影響で原価率が低下したことにより、売上総利益率は改善。経費も金額ベースで削減した結果、営業利益は同5.7%増。なお、3月は新型コロナウイルス感染症の影響により、既存店売上高は同27.8%減。

海外ユニクロ：上期は減益、通期も減益予想

上期は、大幅な減収減益。新型コロナウイルス感染症などの影響を受けた韓国、グレーターチャイナが大幅な減収減益。米国は暖冬の影響で冬物商品の販売に苦戦し、赤字となる。一方で、東南アジア、オーストラリア、インドを含む、その他アジア・オセアニア地区は2桁の増収増益。2019年秋に初進出したインド、ベトナムも好調な業績。欧州も2桁の増収増益を達成。2019年9月には、イタリアに初出店。

下期は、新型コロナウイルス感染症の影響で、3月から海外ユニクロの多くの店舗が臨時休業をしていることから、大幅な減収減益を見込む。なお中国大陸は、3月中旬の新型コロナウイルス感染症の収束の動きにより、売上は回復基調。



ユニクロ コルドゥージオ広場店(イタリア1号店)

サステナビリティの推進

リサイクル素材で快適さと環境への配慮を両立

ファーストリテイリングは、服の生産・販売を通じて、環境への負荷を減らし、持続可能な社会の実現に貢献することをめざしています。ユニクロは2020年春夏シーズンから、回収ペットボトルからつくられるリサイクル・ポリエステルを素材の一部に使用したドライEXポロシャツの販売を開始しました。従来の「ドライEX」の高い吸汗速乾性を実現する機能性はそのままに、快適さと環境への配慮を両立しています。

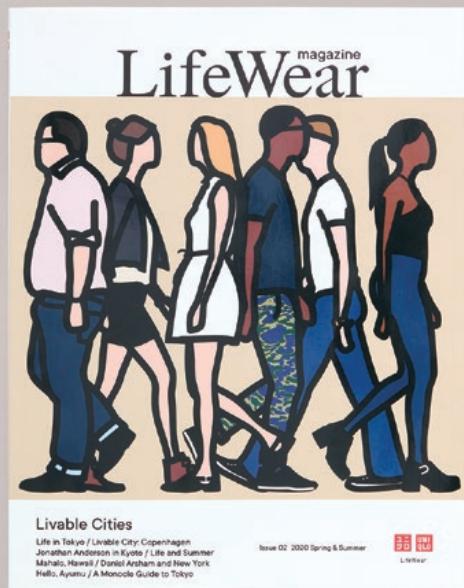
「ドライEX」の素材となるリサイクル・ポリエステル繊維は、ユニクロが戦略的パートナーシップを結ぶ東レ株式会社が開発しました。回収ペットボトルに混入した異物を除去するフィルタリング技術により、これまでのリサイクル技術では困難だった特殊繊維の生産が可能になりました。

2020年春夏に発売されるドライEXポロシャツの生産枚数で換算すると、500mlペットボトル約4,800万本の再資源化を行っていることになります。



リサイクル・ポリエステルを利用したドライEXポロシャツを着用し、全豪オープンでプレーするロジャー・フェデラー選手(ユニクロのグローバルブランドアンバサダー)

世界中のユニクロで、お渡ししています 読んで楽しい“LifeWear magazine”



LifeWearは、ファーストリテイリングがめざす新しい服のコンセプトです。LifeWearについてもっと深く知っていただくために、2019年8月に“LifeWear magazine”を創刊しました。発行は、春夏号・秋冬号の年2回です。世界中のユニクロの店舗(25の国と地域)で無料でお配りしています。

LifeWearは、あらゆる人の生活を、より豊かにするための服です。シンプルでありながら上質、細部への工夫に満ちた、手に取りやすい価格の普段着です。“LifeWear magazine”も、性別や年代にとらわれることなく編集しています。雑誌というカタチをとったのも、

あらゆる年代の方に気軽に読んでいただくためです。

2020年春夏号は「Livable Cities」をテーマに、街と人と服の関係について紹介しています。東京の街に住む7人の方々の暮らしやユニクロの服の着こなしを紹介するほか、プロスノーボーダー・スケートボーダーの平野歩夢選手(ユニクロのグローバルブランドアンバサダー)の内面に迫るインタビュー記事など、話題満載です。巻末には、グローバルマガジン『MONOCLE』と一緒につくった東京ガイドを掲載。原宿、銀座、御徒町・浅草、新宿のユニクロの店舗を中心とした、周辺エリアのユニークなお店を紹介しています。

インド、ベトナムに出店 躍進に期待

2019年10月にインドへの初出店を果たしたあと、11月にはデリー郊外に2号店をオープンし、予想を上回る売上を記録しています。ベトナムでは2019年12月にホーチミン市に1号店を出店し、大盛況で迎えられました。2020年3月には、ベトナムの首都ハノイに東南アジア最大級の広さを誇る2号店をオープンし、オープン初日は多くのお客様が列をなす賑わいを見せています。

東南アジア・南アジア・オセアニア地区は順調に事業拡大し、毎年過去最高の業績を更新しています。これらの地域では、所得が増えている中産階級の人口が爆発的に増え続けています。そうした方々がユニクロの品質や着心地を高く評価していることが、好業績に結びついています。また、これらのエリアでは、気候、文化、宗教が異なるため、ユニクロというブランドイメージを守りながら、



東南アジア・南アジア・オセアニア地区の店舗数

242 店舗

前年同期末比：+31店舗
(2020年2月末)

現地のお客様のニーズにお応えできる商品構成になるように工夫をしています。例えばインドでは、クルタという民族衣装が一般的に着用されているため、インド人デザイナーのリナ・シン氏とコラボレーションしたクルタ・コレクションを発売しました。

現在の東南アジア・南アジア・オセアニア地区の各国の売上規模は、200～400億円程度ですが、近い将来にはそれぞれの国で1,000億円以上に拡大させる計画です。



ユニクロ ドンコイ店
(ベトナム1号店)

スポーツと日常を、 ボーダレスに

スポーツユーティリティウェア。それは、ユニクロが提案する新しい服のコンセプトです。日常からスポーツまで境目なく着用できる、機能性とデザイン性を兼ね備えています。仕事の前後のランニング、スポーツジムでのトレーニングやヨガなどで着用するのに適した機能性をもちながら、日常着としてもスタイリッシュに着こなすことのできるデザインが魅力です。

トップアスリートたちにも信頼されている吸汗速乾性を備えた「ドライEX」は、汗がすぐ乾くので、よりアクティブに活動したくなります。ウルトラストレッチアクティブショートパンツは、全方位に伸縮し、柔らかく軽やかな着心地を体感できます。

また、汗をかいても、心地いい風のようなさらさらした肌触りのエアリズムは、インナーに加えて、エアリズムUVカットメッシュパーカ、エアリズムソフトレギンス、エアリズムシームレスVネックロングTなど、日常のさまざまな場面で活躍するアイテムが揃っています。そんなユニクロのスポーツユーティリティウェアが、世界中の人たちに健康で輝く毎日をお届けします。

ドライEXクルーネックT

¥1,500 + 消費税

ウルトラストレッチアクティブショートパンツ

¥1,990 + 消費税



成長の原動力は ファッションと低価格

ジーユー事業の好業績が続いています。年商は2,000億円を突破、日本の大手アパレル企業と肩を並べる規模となり、業績拡大に弾みがついています。2020年上期も、大幅な増収増益を記録しました。トレンドのケーブルニットやデザインニットをテレビCMで打ち出したことや、暖冬に対応したジャケットやブルゾンなどの薄手のアウターの品揃えが、好調な販売に寄与しました。

ジーユーのブランドメッセージ「YOUR FREEDOM 自分を新しくする自由を。」には、ファッションの自由を、自分を新しくする自由を、あらゆる人に楽しんでもらえるようにしたいという想いが込められています。お客様のリアルな声を収集・分析することで、旬なトレンドと潜在的なニーズを発見しています。それを生かした商品づくりをすることで、お客様に「オシャレ!」「つかえる!」というワクワク感をお届けしています。

また、ファッションのコーディネートに不可欠な靴の販売にも、意欲的に取り組んでいます。女性に大人気のマシュマロパンプスは、日々お客様から寄せられる声をもとに商品開発を行うプロジェクト「GU SHOES LAB」から誕生しました。

ジーユーは「ファッションと低価格」をさらに強化して、日本発のファッションブランドとして躍進し続けていきます。



マシュマロパンプスは、低反発クッションの中敷で履き心地の良さを実現。2,490円＋税という低価格で、累計170万足以上を販売。「日経トレンド」2019年のヒット商品ベスト30に選ばれました。



上期の連結業績は、売上収益1兆2,085億円(前年同期比4.7%減)、営業利益1,367億円(同20.9%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,004億円(同11.9%減)と減収減益の結果となりました。

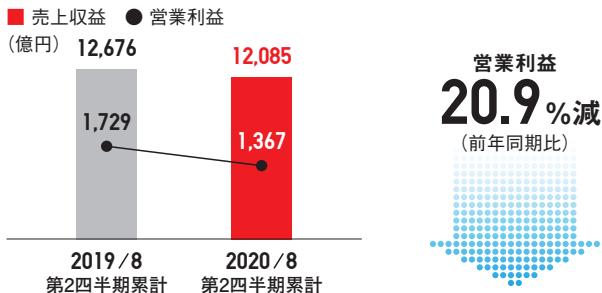
海外ユニクロ事業の上期の売上収益は5,412億円(同6.7%減)、営業利益は532億円(同39.8%減)と大幅な減収減益でした。地域別では、新型コロナウイルス感染症などの影響により、韓国、グレーターチャイナが大幅な減収減益、米国は暖冬の影響で冬物商品の販売に苦戦し、赤字となりました。一方で、その他アジア・オセアニア地区(東南アジア、オーストラリア、インド)、欧州は2桁の増収増益と好調な業績でした。

国内ユニクロ事業の上期の売上収益は4,635億円(同5.7%減)、営業利益は716億円(同5.7%増)と減収増益でした。暖冬の影響で防寒衣料の販売に苦戦し、既存店売上高は同4.6%減となりました。利益面では、売上総利益率は同2.2ポイント改善、販管費を金額ベースで削減した結果、若干の増益となりました。

ジーユー事業の上期の売上収益は1,322億円(同12.9%増)、営業利益

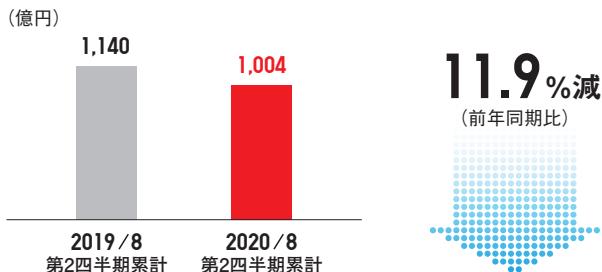
売上収益／営業利益

国内ユニクロ事業、ジーユー事業は増益も 新型コロナの影響で海外ユニクロ事業が大幅減益



親会社の所有者に帰属する四半期利益

営業利益の減益により 親会社の所有者に帰属する四半期利益も減益



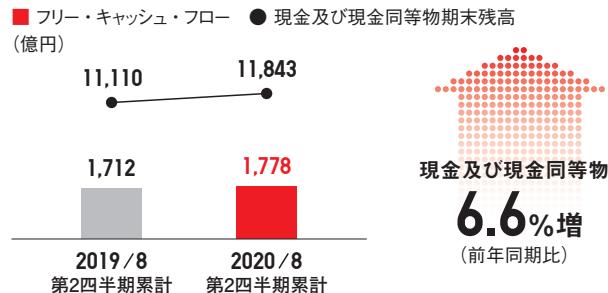
は158億円(同12.0%増)と大幅な増収増益でした。マストレンドを捉えたニットや暖冬に対応した薄手のアウターがヒットしたことで、既存店売上高は同3.8%の増収となりました。利益面では、素材の集約や早期発注により、売上総利益率が0.4ポイント改善、大幅な増益を達成しました。

グローバルブランド事業の上期の売上収益は701億円(同9.8%減)、営業利益は7億円(同76.3%減)でした。主に、セオリー事業、ブラステ事業が暖冬の影響で冬物商品の販売に苦戦し、減益となりました。

各国・各エリアでの、新型コロナウイルス感染症の収束時期を合理的に見積ることができないため、確度の高い業績予想を算出するのが難しい状況です。そのなかで、通期の業績予想は、3月の実績に加え、下期後半に事業活動が徐々に正常化すると仮定し算出しました。売上収益は2兆900億円(前期比8.8%減)、営業利益は1,450億円(同43.7%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益は1,000億円(同38.5%減)となることを見込んでいます。1株当たり年間配当金は、中間配当金240円を含み480円と、前期と同額の配当金を予想しています。

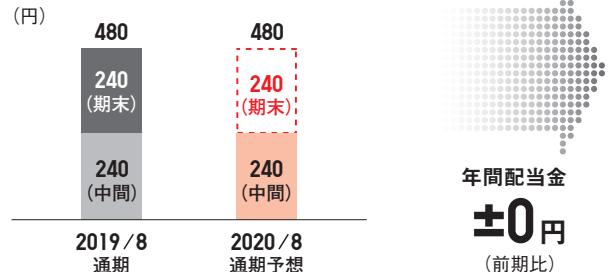
フリー・キャッシュ・フロー／現金及び現金同等物期末残高

ユニクロ事業を中心に営業キャッシュ・フローが増加したことで、現金及び現金同等物が増加



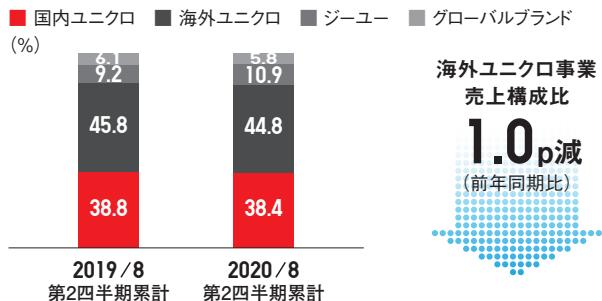
1株当たり配当金

1株当たり年間配当金は480円 前期と同額の配当を予想



セグメント別売上構成比

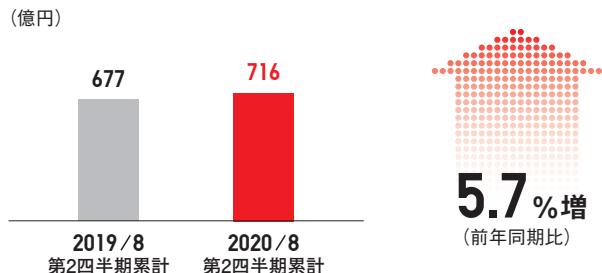
海外ユニクロ事業の売上構成比は44.8%
前年同期比1.0ポイント低下



海外ユニクロ事業は、新型コロナなどの影響により大幅減収、売上構成比も1.0ポイント縮小。ジーユー事業は販売が好調で、売上構成比が1.7ポイント拡大

国内ユニクロ事業：セグメント営業利益

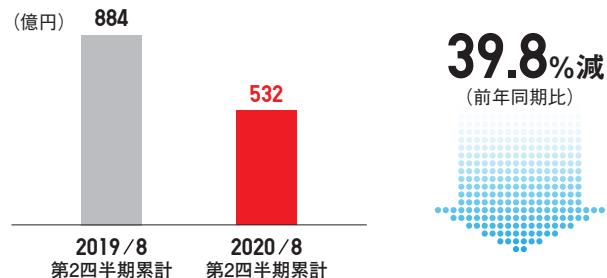
原価率の低下による粗利益率の改善、
販管費の削減により、若干の増益



暖冬の影響で防寒衣料の販売に苦戦し、既存店売上高は減収も、商品仕入の為替レートが円高傾向となったことで、原価率が大幅に改善、販管費も金額ベースで削減できたため、若干の増益を達成

海外ユニクロ事業：セグメント営業利益

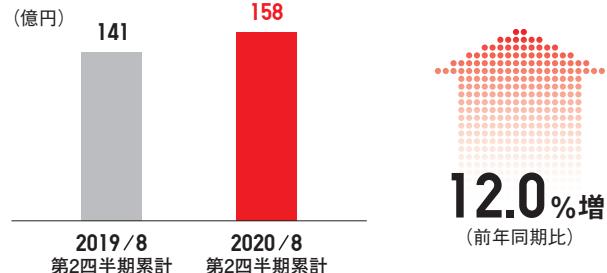
韓国、グレーターチャイナが新型コロナの影響などで大幅な減益



新型コロナなどの影響により、韓国、グレーターチャイナは、販売に苦戦。一方、その他アジア・オセアニア地区(東南アジア、オーストラリア、インド)、欧州は2桁の増益を達成

ジーユー事業：セグメント営業利益

大幅な増収増益。マストトレンドを捉えたニットや薄手のアウターの販売が好調



マストトレンドを捉えた商品の品揃えが充実したこと、トレンドを見極め、短リードタイムで生産する体制が確立できたこと、お客様の声を反映した定番商品の改善により、上期は好調な販売を達成

■ 会社概要

商号	株式会社ファーストリテイリング FAST RETAILING CO., LTD.		
本社事務所	山口県山口市佐山717番地1		
六本木本部	東京都港区赤坂9丁目7番1号 ミッドタウン・タワー		
有明本部	東京都江東区有明1丁目6番7号6階 UNIQLO CITY TOKYO		
設立	1963年5月1日		
資本金	102億7,395万円		
事業の内容	株式又は持分の所有によるグループ全体の事業活動の支配・管理等		
連結従業員数	56,611名		

■ 取締役・監査役

代表取締役会長兼社長	柳井 正	常勤監査役	田中 明
取締役(社外)	半林 亨		新庄 正明
	服部 暢達		水澤 真澄
	新宅 正明	監査役(社外)	安本 隆晴
	名和 高司		金子 圭子
	大野 直竹		櫻谷 隆夫
取締役(社内)	岡崎 健		
	柳井 一海		
	柳井 康治		

■ 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	106,073,656株
株主数	8,889名

■ 大株主

	持株数(千株)	持株比率(%)
柳井 正	22,037	21.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,096	19.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,854	10.63
TTY Management B.V.	5,310	5.20
柳井 一海	4,781	4.68
柳井 康治	4,780	4.68
有限会社Fight&Step	4,750	4.65
有限会社MASTERMIND	3,610	3.54
資産管理サービス信託銀行株式会社	3,347	3.28
柳井 照代	2,327	2.28

*持株比率は自己株式(3,991,435株)を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況

■ 個人・その他	37.09%
■ 金融機関	33.08%
■ 外国人	19.34%
■ 事業会社・その他法人	8.00%
■ 証券会社	2.48%



■ 株主メモ

上市証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 9983) 香港証券取引所 メインボード市場 (証券コード 6288)
単元株式数	100株 (東京証券取引所) 300HDR (香港証券取引所)
事業年度	9月1日～翌年8月31日
定時株主総会	毎年11月下旬
剰余金の配当基準日	期末配当: 8月末日 中間配当: 2月末日
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載 URL www.fastretailing.com/jp/ir/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します)

住所変更、買取請求、その他各種お手続きについて

証券会社等に口座をお持ちの株主様
口座を開設されている証券会社まで、お問い合わせください。

特別口座をお持ちの株主様
下記連絡先(三菱UFJ信託銀行 証券代行部)まで、お問い合わせください。

未受領の配当金について

三菱UFJ信託銀行本支店まで、お問い合わせください。

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

0120-232-711 9:00~17:00(土・日・祝祭日等を除く平日)

IRホームページ紹介 www.fastretailing.com/jp/ir/

ユニクロ お客様窓口 | 0120-170-296 9:00~17:00(年中無休)